

使用前にこの注意書きを必ず読み保管する。

## 使用上の注意

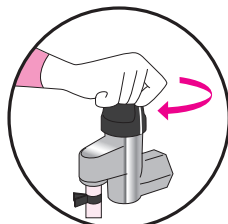
- 吸入飲用不可 人体に害があるので絶対に吸入飲用しない。
- 皮膚に触れると、かぶれる恐れがあるので注意する。
- 引火性があるので火気に近づけない。特にガス湯沸器や内釜式浴槽の種火、ヒーターなどは必ず消してガスの元栓は閉める。必ず火元がないことを確認する。
- 呼吸器疾患の方は注意して使用する。
- 真上に噴射するので噴射口に顔を近づけない。
- 2本以上同時に使用しない。
- 転倒を防ぐため、箱にセットして使用する。
- 人に向かって噴射しない。
- 使用後は、部屋を十分に換気してから入室する。
- 大型コンピューターのある部屋では使用しない。
- 床に液が付着している場合は必ず拭き取る。
- ベッド、おもちゃ、透明なプラスチック製品、家具、カーテン、本革製品、合成皮革製品、美術品、仏壇仏具、はく製などに直接薬剤がかかると故障や変色、シミの原因となる恐れがある。
- 極端に狭い部屋や地下室などの換気が出来ない部屋で使用しない。  
(本製品1個あたり6～8畳が目安)
- 集合住宅等の集中管理方式のガス警報器の場合は、住宅管理者と相談の上で使用する。
- 霧が直接あたると火災報知器が作動することがある。

## 使用の目安

6～8畳 (10～13m<sup>2</sup>)  
6畳未満の部屋やトイレ等の  
換気の出来ない所で使用しない。

火気厳禁

誤飲に注意



元栓を閉める

## 応急処置

- 飲み込んだ場合は、無理に吐き出さず口をすすいで水又は牛乳を飲み、医師の処置を受ける。
- 目に入った場合は、直ちに清水で15分以上洗浄し、医師の処置を受ける。
- 皮膚に触れた場合は、水又は石けんでよく洗い、必要に応じて医師の処置を受ける。
- 使用後に室内で気分が悪くなった場合は、直ちに屋外に出て換気し、速やかに通気のよい所で安静にする。  
気分が回復しない場合は医師の処置を受ける。

## 保管及び廃棄方法

- 子供や要介護対象の方、認知症の方が触れられない所に保管する。
- 暖房機器(ファンヒーター等)の周囲は温度が上がり破裂する危険性があるので置かない。
- 車内や直射日光の当たる所、40℃以上になる所、サビの発生しやすい所、湿気の多い所には保管しない。
- 中身を使い切り、火気のない戸外で完全にガスを噴射させ、地域の定める方法で廃棄する。

## Q&A よくある質問

### Q 火災報知器は覆った方がいい？

必要はありません。噴射する霧の高さは2m以下です。  
直接報知器にあたらないため反応はしません。

※必ず床に置き、報知器との距離を確保してください。

### Q 人体に影響はある？

影響の少ない安全性の高い成分を使用しております。

※使用説明書をよく読みご使用ください。

### Q 外出しないと使えない？

使えます。使用する部屋を密閉してご使用ください。

# 使用前の準備

部屋(換気口や扉、窓など)を閉め切る。

## 必ず部屋から出すもの

- ペット
- 観賞魚(エビ)
- 植物



- 食品
- 食器

・移動することが困難な水槽の場合は  
エアープンプを止めて完全に密閉する。

## 電源を切り、袋で覆う等の注意が必要なもの

- パソコン
- テレビ
- ビデオ



- ワークプロ
- ゲーム機器
- 楽器

・ディスクやテープ類は付属のケースに入れる。  
・エアコン、空気清浄機、電動ベッド等の電化製品の電源を切る。

## 警報機について



天井取付型

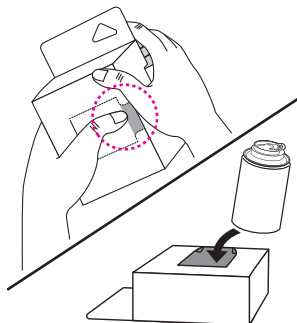


壁掛け型

<ガス警報機> 袋などで覆う。  
<火災報知機> 直接霧があたらないようにする。  
<複合型報知器 (ガス・火災の両方を感知するタイプ)> 袋などで覆う。  
※袋などで覆った場合は必ず使用後に取り除く。

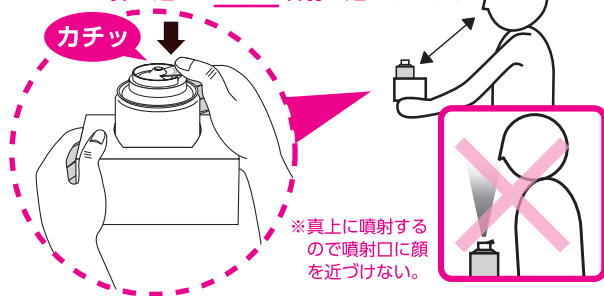
# 使用方法

- 1 箱の裏面を押し込み  
缶をセットする。



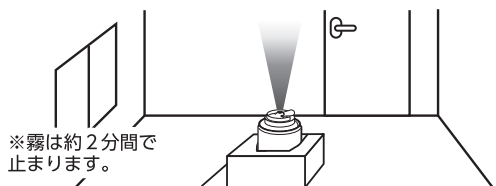
- 2 缶を顔から離れた位置で持ちカチッと  
音がするまでボタンを押し込む。

※押し込むとすぐに噴射が始まります。



- 3 箱にセットした缶を部屋の  
中央の水平な床に置く。

※使用後1時間は入室しない。  
※必ず床に置く。机や台の上には置かない。  
※容器を横倒しにしない。  
※物に霧が直接かからないようにする。



- 4 1時間後、扉や窓を開放し充分換気をする。

※床に液が付着している場合は必ず拭き取る。